

食品廃棄を減らしてCO₂を削減

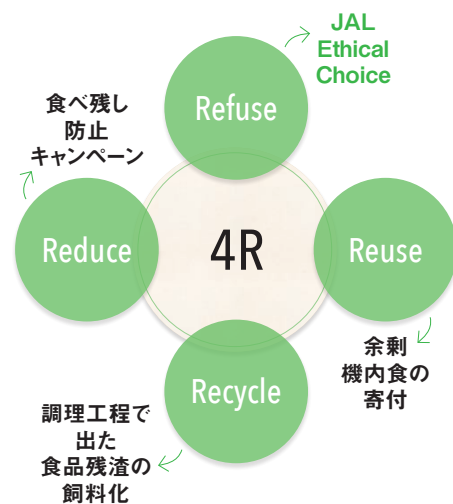
手つかずの機内食はどこへ？

フライト中、皆さまはどんなことをして過ごされますか？ こうして機内誌を読む、映画を見る、なかには機内食を楽しむにしてくださいっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

飛行時間の長いフライトでは大勢の皆さまにお楽しみいただいている機内食ですが、実はビジネス利用の多い短距離路線では、睡眠を優先して機内食をお断りになるお客さまが約10%を占めます。不要となった機内食は検疫の問題で、すべて焼却処分となっています（国際線）。食品は多くの水分を含むため、通常のゴミと比べて焼却にかかる負荷も大きく、多くのCO₂を排出していました。

選択の自由を

JALはこの食品廃棄を減らすとともに、食品の焼却によって発生するCO₂を削減したいと考え、今年2月から一部の路線を対象に、機内食の事前キャンセル受付サービス「JAL Ethical Choice」^{エシカルチョイス}（Meal Skip Option^{ミールスキップオプション}）を開始しました。



これは航空会社として世界初の取り組みです。

Webサイトやお電話で機内食をキャンセルしていただくことで、機内でゆっくりとお休みいただき、食品廃棄削減、航空機への搭載重量が減ることによるCO₂削減にもご協力いただいています。

食品廃棄を減らす「4R」

意外に思われるかもしれませんが、世界の温室効果ガス排出量のうち、食料システム全体（生産・流通・加工を含む）が占める割合は21～37%と、最大の排出

源となっています*。

JALでは、機内食を不要とされるお客さまにJAL Ethical Choiceを^①活用いただくことで、CO₂の発生回避や食品廃棄の削減に努めています。これは廃棄されるものを発生させない「リデュース」という取り組みです。

このほか、機内に搭載しなかったお食事を寄付する「リユース」、成田の国際線だけで月間約3トンになる調理中の野菜かすなどを飼料化する「リサイクル」、そして機内食を食べきっていただくことで、廃棄にかかるCO₂が減らせる「リデュース」を加えた「4R」の精神で、食品廃棄を削減し、限りある資源を次世代につなぎたいと考えています。

皆さまのお手元にあるメニューカードには、「おいしく食べること、地球をきれいに保つことができる」という、JALグループから皆さまへのメッセージが添えられています。

お一人一人にご協力いただくことで、明日の美しい地球を実現できます。未来のためにできること、ともに始めてみませんか？ ^②

『豊かな地球を次世代へ』

おいしく食べること、廃棄にかかるCO₂排出が減り、地球をきれいに保つことができます。

JALは持続可能な社会を実現するために、自然環境を守る取り組みを推進しています。

国際線プレミアムエコノミークラスのメニューカードに記載されたJALグループからのメッセージ。

Let's do Ethical Sky!

JAL Ethical Choice ~Meal Skip Option~

機内食の事前キャンセル受付サービスは、航空券の予約時にお申し込みいただけるほか、予約後の詳細画面の「サービス申し込み（座席・機内食・オプション）」ボタンより、便出発の25時間前までお手続き可能です。

お申し込み方法

機内食不要な方のための、新たなサービスを開始！

Meal Skip Option

機内食が不要な場合、ご出発前にJAL Webサイトより事前にお申し込みいただけます。機内でゆっくりとお休みになりたい方や食品廃棄削減にご協力をいただける方ぜひご利用ください。

右記Webサイトにアクセス >> https://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/service/meal/meal_skip/

お電話でのお申し込みも可能です。JMB会員の方 0570-025-103 会員以外の方 0570-025-031

(年中無休：8:00～19:00／有料通話)

『豊かな地球を次世代へ』

おいしく食べること、廃棄にかかるCO₂排出が減り、地球をきれいに保つことができます。

JALは持続可能な社会を実現するために、自然環境を守る取り組みを推進しています。

今回のテーマに該当する目標

*「温室効果ガスフラックスに関するIPCC(気候変動に関する政府間パネル)特別報告書」(2019年8月)より

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

